



広報 かどま

THE CITY OF KADOMA

平成27年
(2015)

4

No. 1163

月号
(毎月1日発行)

■27年度施政方針	2
■27年度予算	3
■市役所電話番号一覧	3
■カドマイスター2015認定企業決定	4
■公民館春のサークル生募集	10

門真市役所 / 〒571-8585 門真市中町1番1号 ☎06(6902)1231 ☎072(885)1231
 編集と発行 / 総合政策部秘書広報課 ホームページ <http://www.city.kadoma.osaka.jp/>
 配布に関する問い合わせ ☎0120(934)571

人口12万6310人 (男6万2466人、女6万3844人) 世帯数6万1019世帯
 転入353人 転出476人 出生51人 死亡124人
 (27年3月1日現在 転入・出などは27年2月中の数字)

27年度施政方針 持続可能な自律発展都市に 希望の光は市民の皆さんの中に



問合せ先 企画課
06(6902)5572

2月27日、27年市議会第1回定例会が開会され、27年度の施政方針が発表されました。園部一成・門真市長は演説の中で、27年度は次の将来を見越しながら大胆な議論を進めていく土台作り、ターニングポイントとなる1年であるとし、「市民の皆様の『幸福度の向上』を図り、未来を担う子どもたちが『住みたい』『住み続けたい』と本市に誇りを持てるまちを作り上げる」と決意を述べました。



投資による成果が新たな希望の蕾に

市長就任以来、途絶える事なく「行政改革」を推進し、市民生活への影響を最小限に抑えた「内なる改革」を断行してまいりました。

「教育の向上」「まちづくり」「産業の振興」の重点施策はもとより、「子ども」「女性」「コンパクトシティ」というキーワード施策と同時に、保健、福祉、環境、生涯学習などさまざまな分野でも新規施策を実施してまいりました。

これらの施策は、第5次総合計画に基づき、計画的に実施してきたもので、市の将来を見越した持続可能な自律発展都市に繋がる投資事業であります。まちづくりなど多くの投資は、その効果を生み出すまでに一定の時間がかかります。新しい総合体育館の建設や生涯学習複合施設の建設と民間施設が融合した新しい「まちの顔」づくり、また、北島地区での企業誘致と雇用の拡大など、まちの、あちらこちらで、播いた種が今、新たな希望の蕾となって、ようやく目に見えるようになってまいりましたが、引き続き、投資による

「オンリーワン」のまちづくり・愛着の持てるまちへ

20年後、30年後には、総人口の大幅な減少となり、とりわけ、生産年齢人口および子どもの人口が減少する見込みとなっております。

税収確保、人口増加を図るべく持続可能なまちづくりへ向け、定住促進・愛着の持てるまちをめざし、全職員の英知を結集した「オンリーワン」施策の実施に向けて議論を積み重ねてきています。

そして、「子ども・子育て関連3法」の施行に基づき、27年度より、子ども子育て支援に関する制度が大きく変化していきます。本市といたしましても、「門真市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理を行いながら、民間動向を踏まえつつ、更なる子育て支援、就学前教育・保育の充実へ向け、方向性を定めていかなければなりません。

「市民力」・「地域力」を飛躍的に向上

市民の皆様を暮らし、どのように

守りながら、自治体経営を安定させていくのか、持続可能な自律発展都市を構築していくのかは、財政構造のせい弱さを抱える本市において簡単な問題ではありません。私は、その希望の光は、まさに市民の皆様の中にあると確信いたしております。

本年に第五中学校区地域会議が結成の運びとなりましたが、三中学校区、七中学校区でも結成の動きが活発になっております。

市といたしましても、市民に寄り添い、ともに考え、実践し、支援するため、27年度より地域担当職員制度の拡充を行うとともに、財政的支援の充実を積極的に行い、市民の皆様がさまざまな取り組みで集まる「(仮称)地域協働センター」の建設も推進してまいりたいと考えております。

私は、訪れる時代のどのような出来事も、前向きに捉え、発展の可能性を見出し、その根源的な方向性を輝らすことで、市民の皆様の「幸福度の向上」を図り、未来を担う子どもたちが「住みたい」「住み続けたい」と本市に誇りを持てるまちを作り上げるため、市政運営に全力で取り組んでまいります。